

東京都精神保健福祉家族会連合会

(東京つくし会)

〒156-0056 世田谷区八幡山

3-33-1 林マンション301

TEL/FAX:03-3304-1108

<http://www.ttsukush.sakura.ne.jp/>

発行者 眞壁 博美

2020.9.15 第341号

つくしだより



令和2年9月号

2021年度東京都予算要望の
実現に向けての都議会各会派との

ヒアリングを行いました

都連副会長 植松 和光

今年の都議会各会派とのヒアリングを8月27日から行いました。

例年だと各地域・病院家族会の皆様と一緒に多数の方の参加で家族の切実な声を都議会の皆様に届けましたが、コロナ禍の中で行われたためつくし会の理事のみで行いました。また、都議会各会派も少数での対応でした。

ヒアリングで、私たちが重点的にお願いしたのは

1 「心身障害者福祉手当」を精神障がい者にも支給してください。

(昭和49年に制定されたこの制度は実施から46年になりますが精神障害者にはいまだ支給されていません。この間、23区では2020年8月現在中央区を始め13区、市町村では奥多摩町が実施していること。

精神障害者に支給しないことの東京都の説明は、精神障害者には通院医療費が助成されていること、また、級間移動があり定着していないし、所得補償は国の事業であるとしてい

ることなどを説明し理解を求めました。)

2 家族の一時避難所を作ってください。

(当事者と家族の軋轢を一時解消するための一時避難場所を東京都精神保健福祉センターの旧ホステル施設を一時避難場所として使用できないか。現在、このような施設があるのは調布市と府中市が行っているのみです。調布市は市が施設借上げ費用を負担、運営は家族会が行っている。府中市は梅の木家族会が家族の好意で低廉な家賃で借上げ費用は家族会が負担、運営も家族会と、その運営は大変な状況にあること。しかし、利用者は常にあり、絶対なくすことはできない。などの実態を話しました。)

3 都立保健所における精神障がい者への対応の充実及びアウトリーチ事業の充実

(アウトリーチ事業については、現在東京都精神保健福祉センターと2区でしか実施されておらず、東京都の役割が一層重要であることを訴えました。3センターの平成30年度の実績では14件でした。内容のある事業実績内容だと思いますが、あまり

にも少ないのではないかと感じていること。一方、練馬区では平成27年度から実施し、27年度129件、28年度243件、29年度328件、30年度554件、31年度640件、令和元年度580件(コロナウィルス騒動の影響で減っている)で、着実に成果を挙げている。世田谷区ではアウトリーチ事業が昨年6月から始まり今年3月までで、支援事業実施数28件、訪問実施数184件、保健師との連携件数616件といずれも未治療や医療中断で大変な状況にある精神障がいを抱えた都民が沢山いることを、現場の家族会の方が訴えてくれました。)

都議会各会派の皆様ありがとうございました。是非、要望実現のために今後ともよろしく願いいたします。

また、参加された皆さんお疲れ様でした。



障害者雇用率0.1%引き上げ時期決まる
都連会長 眞壁 博美

「第98回労働政策審議会雇用分科会」
において、現在2.2%の雇用率を2.3%
に引き上げる時期を2021年3月1日に
するということと合意しました。

そもそも、「障害者の雇用の促進等に関す
る法律施行令及び身体障害者補助犬法施行
令の一部を改正する制令（平成29年制令第
175号）を議論する過程で、民間企業の
場合、現在の雇用率は2.2%ですが、当
初2.4%の数字を2.3%とした上で、
さらに猶予期間（2018年4月1日より
3年以内）を置いたのです。

厚労省からは2021年1月1日実施を
提案されましたが、使用者代表の委員たち
からは「新型コロナウイルスの影響が大き
く、2.3%に引き上げる時期を延期して
欲しい」という意見が強くなりました。
勿論、テレワークが進む中、社員の補助的
業務や福利・厚生的な業務が少なくなっ
ている現状は理解できます。

しかし、仮にこの経済状況によって、雇用
率を据え置いたりするならば、一番弱い立場
にある障害者の雇用は一般の雇用の補完的
位置づけに留まります。これまで障害者の雇
用が本質的な位置となるように、経営・労働、
障害等の各分野から一丸となつてとりまと

めてきた雇用率を定める意味が無くなつて
しまします。

新型コロナウイルスへの対策で、各企業
では職員のテレワーク等をすすめることが
加速しています。この経験から、障害者雇
用に適した新たなやりがいのある仕事を見
いだすチャンスではないかと考えます。障
害者にとつては、慣れない所に行くより自
宅で仕事ができれば、就労へのハードルが
下がると思います。

なお、雇用率引き上げに係る政令案につ
いて厚労省ではパブリックコメントを開始
しています。期間は8/21～9/19です。

2021みんなねつと全国大会in東京

概要について

都連副会長 轡田 英夫

2021年10月の2日間に渡って、みんな
ねつと全国大会を東京で開催する予定です。
開催場所や日時については現在調整中です。
1000人規模の参加者を予定しています
ので、適当な会場を模索しているところで
す。今回の実施に当たっては、従来と大きく異
なる点があります。

一つは、旅行代理店を使わない事です。今
までは、参加申し込み受付を旅行代理店に代
行してもらい、交通・宿泊・分科会希望・懇
親会等を一括して旅行社にお任せし、代金集

めやチケット送付等の事務作業をお願いし
ていました。今回は、参加者が交通チケット
や宿泊ホテルは各自でとってもらうことに
なります。

二つ目は、新型コロナウイルスの関係で、
全体の懇親会を行わないという事です。40
0人近い、ある程度高齢な集団が懇親会を行
って感染したとなると全国的なニュースに
なつて、各方面に多大な迷惑をかける事にな
つてしまいます。これは絶対に避けなければ
なりません。

東京大会の具体的な内容としては、「誰も
が安心して住み続けられる社会を目指して」
という大会のスローガンのもとに、初日は、
「首都東京の精神医療を考える」というテー
マで都立松沢病院の院長の齋藤正彦先生の
特別講演や、「当事者に寄り添った支援とは」
という前東洋大学ライフデザイン学部の教
授であった白石和己先生の講演を予定して
います。二日目は、「誰もが人生の主人公に
ー子離れのススメー」、「ライフステージに合
わせたサポート」、「統合失調症からの回復を
どう支援するか」といったような分科会を5
〜6個設けようかと考えているところです。
ご意見があればご連絡ください。

東京大会を実施するにあたっては多くの
人の協力が必要となります。皆様方の積極的
なご助力のほどよろしくお願い申し上げま
す。

練馬すずしろ会講演会報告

都連理事 松沢 勝

練馬すずしろ会の講演会の一部をご紹介します。

講演会「精神科治療と主治医との相談のコツ―最近の練馬での事件から考える―」
講師 精神科医師 古川俊一先生（東京警察病院神経科部長）

日時 2020年7月17日（金）午後1時30分～3時30分

場所 区民・産業プラザ（ココネリ）3階 研修室5

講師の古川先生は、文京家族会の前山理事からご紹介頂きました。以下、講演の一部をご紹介します。

古川先生にお願いした経緯は、練馬区で起きた元農水事務次官長男殺害事件でした。2019年6月1日、元農水事務次官の父親K（当時76歳）が東京都練馬区にある自宅において、無職の長男E（当時44歳）を刺殺した事件です。

先生からは、裁判中の事件であり、勝ちか負けの問題になるので、正しいか否かを問われないことと、マスコミ情報を通してしか評価出来ない点を了解して欲しいとのコメントがありました。

判決は、遺体の傷の多さや深さから殺意の強さを認定。主治医や警察に相談するなど現

実的な対処方法があったのに、外部に相談せず、同居から約1週間で殺害を決意したことも「短絡的な面がある」と非難。実刑判決に導いた。

次に、**精神科の主治医とは？**というテーマについて、夏苺先生のレポートを引用された。「精神科担当医の診察態度」を患者・家族はどのように評価しているか―約6000人の調査結果とそれに基づく提言―である。

【1】精神科医をどうやって選ぶか？↓良い出会いは難しい

① ホームページやマスメディアの記事

↓いいことしか書かれていない

↓記載された医師の経歴が分からない

② かかりつけ医、友人からの情報、弁護士

他の専門職からの情報↓尋ねる価値はある

【2】医師を選択する基準Ⅱ「もし担当医を選ぶことが出来るとしたら、どのようなことを参考にしてみますか。」

医師を選択する基準では、本人回答で「大いに参考にする」の割合が最も高いのは、「適切な薬を処方する能力」（65.4%）で、

人柄（65.0%）、コミュニケーション能力（57.8%）、行動力（57.2%）、知識（43.5%）が続いた。家族回答においても「適切な薬を処方する能力」が最も多く、

ほぼ同様の傾向がみられた。

【3】現在の担当医に対する評価Ⅱ「現在の

担当医は、何を中心に診察をしていると感じますか」という問い。

本人、家族ともに、過半数の人が「患者本人の価値観を中心」と回答していた。

【4】家族のニーズⅡ「家族として医師に工夫してほしいこと」

・「短い診察のなかでだけではできないことは、看護師やカウンセラーにも相談できるようにする」（50.6%）、

・「本人の生活全体（家族関係や趣味など）に関心をもってもらいたい」（42.1%）、

・「相談できる機関のネットワークを増やし、医師も地域の情報を収集して家族に教えてほしい」（41.6%）が多く選ばれた。

【5】調査結果をもとにした、わが国の精神医療への提言を引用された。

人手・時間・質の高い医療の確保への制度的な保証が乏しいなかで、医師は本調査の結果に示されたような、専門性と人間性の双方を兼ね備えた精神科医像を患者・家族に求められる。



でんでんむしの哀しみ

都連副会長 本田 道子

朝が来る。目がさめる。窓のカーテンを開ける。今日もきれいな夏の青空だ。

7・8歩歩けば台所。

今朝は日本茶かミルクティーか迷う。

なんとという幸せ。

自分の足で立ち、自分の手でできること。自分の目で青空さえ見える幸せ。

2時間歩いて水を汲む少女を思いながら蛇口をひねる。2・3分でお湯が沸く。

平和な日本のあたりまえ。

でも、と心がささやく。

忘れないで。

自分の足で歩けない人。自分の目で青空を見られない人。目には見えない障がいを持った人のこと。今この時も戦さがあり、差別もあり生きていることに困難を抱えている人生があることを。

夏の青空は生きてゆく勇氣もくれる。

「障がい」は 抱きしめて生きてゆく。

覚悟を決めればいいのだ。

哀しみはでんでんむしにも、あなたの背にも私の背中にも いっぱいなのだ。



☆ 賛助会費 ☆ (敬称略)

錦糸町クボタクリニック	5000円
北千住旭クリニック	5000円
ちひろメンタルクリニック	5000円
明神下診療所	5000円
榎本クリニック	5000円
打波 誉也	2000円
田鹿 好昭	2000円
伊勢田 堯	2000円

ありがとうございます。



☆講演会のお知らせ☆

講演会はコロナウィルスの関係でやむなく中止・延期になる場合もありますので、お出かけの際は主催者にご確認下さい。

「回復へのみちのり 私の場合」

～当事者・家族の本音トーク Party～

10月10日(土)午後2時～4時

会場 立川市幸学習館 2階講堂 申込不要

主催 立川麦の会 ☎042-537-3905

☆中止のお知らせ☆

10月10日の新宿フレンズ50周年記念式典は中止となりました。

編集後記

「戦後75年」

毎年8月15日の終戦日になると、幼き日の東京港区に住んでいた頃を思い出します。毎晩乏しい食材の夕食を食べていると、決まって空襲警報が鳴り響き、家族皆で防空壕に入り息をひそめていました。

「明日の命は分からない・・・」上野駅から夜の疎開列車に乗り母の郷里の青森へ疎開しました。

子ども心に飢えと戦争の恐ろしさが体に染み込み、「戦争は絶対に嫌だ」と心に誓いました。

あれから75年、日本は経済的には豊かになりましたが、心の病は増加しています。最近では統合失調症、うつ病だけにとどまらず発達障害、双極性障害、境界性人格障害、解離性障害等広範囲に及んでいます。

それなりに家族会の相談員は、日々勉強し相談に訪れる方に深く寄り添っていかねければならないということを痛切に感じます。

都連理事 小澤 輝江



つくしだよりは赤い羽根共同基金の配分を受けて発行しています。